

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 一貫制博士課程
ヒューマンバイオロジー学位プログラム(5D)

科目区分	科目群等		条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目	ヒューマンバイオロジー関連科目	イニシエーション科目	必修 選択	3 0~1
		基礎科目	必修 選択	1 0~6
		国際科目	選択必修(1科目履修) 選択	5~21 0~6
		応用国際科目	選択	0~20
	大学院共通科目:全学科目	トランスフェラブルスキル	選択	0~10
専門基礎科目	ヒューマンバイオロジー関連科目	医科学	必修 選択	8 0~1
		分子科学	選択(3科目履修)	3~8
		数学と計算科学	必修 選択(必修1科目を含め3科目履修)	2 2~8
		その他	選択	0~6
専門科目	ヒューマンバイオロジー関連科目		必修	36
修了単位数				72

(修了要件等)

・5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

・大学院学則第3条の2第2項に規定する課程の目的を充足した上で、次の能力を有することがQualifying Examination 1 (QE1)、Qualifying Examination 2 (QE2)及び最終試験において認定されること。

ア 世界に貢献するという明確な意思及び真摯な態度

イ 国際的な英語力検定試験で保証された英語力

ウ 国際社会で自在に交渉することができるコミュニケーション能力

エ 我が国の医師に匹敵するヒトに関する生物学の専門基礎知識

オ 生命科学、計算科学及び物質科学を駆使し社会ニーズが高い課題を自立して解決する能力

カ 査読付き学術論文を2報以上発表(うち1報以上は筆頭著者であること)。ただし、企画書型の学位論文を申請する場合は1報以上発表

キ 学生の自己成長を促進する形成的評価システム(GLiD)における規定以上の達成度

・ヒトの生物学の分野において、独創的で優れたテーマの設定を行い、博士の学位に相応しい成果が得られ、相応しい体裁にまとめられていること並びに当該分野の社会のニーズを理解し、必要とされる実施目的を設定して、自らの力で研究・実践を推進する能力、総括する能力及び産業界又は学术界から国際的に高い評価を得られる企画書・提案書・学術論文を公表す

(履修方法)

次の履修方法により72単位以上を修得すること。

(1) ヒューマンバイオロジー関連科目の1,2年次の配当科目のうち、次の科目を含めて合計60単位以上

・基礎科目 イニシエーションセミナー、世界のサイエンスリーダーズセミナー、ビジネスリーダーズセミナー、科学倫理により4単位、及び選択必修5単位以上

・専門基礎科目 人体解剖学・発生学、人体病理学・腫瘍学、ヒトの感染・免疫学、ヒトの内分泌・代謝学、基礎計算生物学

・専門科目の1,2年時配当科目 26単位

(2) ヒューマンバイオロジー関連科目の専門科目の3年次の配当科目 10単位

(注)

教育上有益と認められる場合には、10単位を限度として他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる

単位として認めることができる。